

トピックス

■【大阪】市営交通ご愛顧ありがとうキャンペーン実施

大阪市交通局は、2018年3月19日(月)から「市営交通ご愛顧ありがとうキャンペーン」を行う。

2018年4月1日(日)から、大阪市営地下鉄は「Osaka Metro」、大阪市営バスは「大阪シティバス」として新たに出発する。このキャンペーンでは、市営交通として最終日となる2018年3月31日(土)を迎えるにあたり、これまで市営交通を支えてきた市民・お客様に感謝の気持ちを込めたポスター掲出や、ヘッドマークを付けた電車を運行する。初日の2018年3月19日(月)には、地下鉄の主要4駅及び大阪駅前バスターミナル等において職員がノベルティ(マスク)を配布し、お客様に感謝を伝えた。

また、御堂筋線開業85周年イベントも同時期に開催される。こちらは参加賞がもらえるクイズラリー(期間:2018年3月21日(水)~3月31日(土))や梅田駅などで車両模型の展示が行われる。



▲ノベルティ(マスク)デザイン



▲ヘッドマーク



▲ポスターデザイン

■【阪神】春の高校野球大会 列車接近メロディーは25年ぶりのあの曲

阪神電気鉄道は2018年3月14日(水)、「第90回選抜高等学校野球大会」の開催に合わせ、3月23日(金)から甲子園駅の列車接近メロディーを一時的に変更すると発表した。高校野球大会の期間中に列車接近メロディーを変える取り組みは、2013年から実施されている阪神電鉄の恒例企画で、今期間では、1993年の第65回記念大会に使用された入場行進曲「今ありて」をアレンジしたものとなる。

3月23日(金)からの大会期間中に使用される接近メロディは、列車接近時に「今ありて」のサビの部分約10秒間放送し、列車の接近・到着を知らせる。同社は通常、「線路は続くよどこまでも」を列車接近メロディーに使用しており、甲子園駅以外の駅の列車接近メロディーは、大会期間中も変更しない。

「今ありて」の接近メロディが使用されるのは、3月23日(金)の始発から大会終了日の終電まで。なお「第90回選抜高等学校野球大会」は4月4日(水)までの実施が予定されている。



▲阪神甲子園駅



▲阪神甲子園駅ホーム

■太陽の塔 48年ぶり内部一般公開開始 予約殺到

1970年大阪万博のシンボルで、大阪府吹田市の万博記念公園にある「太陽の塔」(約70メートル)内部の一般公開が3月19日午前、始まった。約2年前から進めていた塔の耐震工事で展示物の再生作業が完了。万博閉幕後に行方不明となっていた「第4の顔」と呼ばれる「地底の太陽」が地下の展示空間に復元された。内部には、色鮮やかな幹や枝が特徴の「生命の樹」を中心に33種183体の生物のオブジェが配され、階段を上がりながら進化の過程をらせん状にたどれる。

事前に予約した見学者が朝早くから列をなすなど、48年ぶりにあの日の熱気がよみがえった。なお、4ヶ月前から見学予約可能だが、すでに7月中旬まで埋まっている。

前日の18日には、記念の式典が行われた。式典には大阪府の松井知事も参加し、DREAMS COME TRUEによる公開記念ライブも実施された。



▲太陽の塔



▲生命の樹

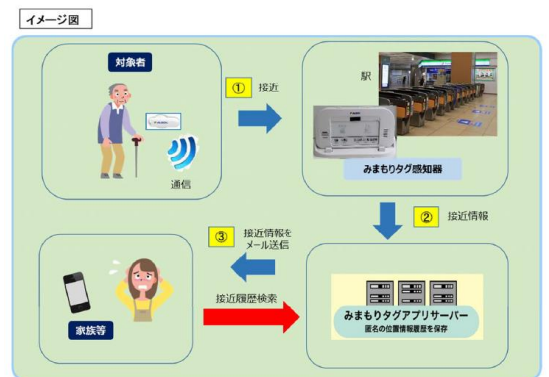
■【近鉄】ALSOK「みまもりタグ」の感知器を設置

近鉄では、総合警備保障株式会社(以下「ALSOK」)の「みまもりタグを活用した地域見守り体制整備・活性化支援事業」の実証実験等に協力し、駅に「みまもりタグ」の感知器を設置する。

本事業は、国土交通省の「平成28年度スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」に係る補助事業の対象にも選定されている。

鉄道駅への「みまもりタグ」の感知器設置について本事業では西日本で初。

「みまもりタグ」の活用により、高齢者等を捜索する際の一助にしたり、対象者の近くにいる人に情報提供を呼びかけたりすることもでき、今後も近鉄では、子供からご高齢の方まで安心して暮せる沿線地域づくりを目指し、設置駅の拡大を検討する。



▲みまもりタグ使用のイメージ図